

2017 - 2018 年度 国際ロータリー第 2740 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 ガバナー月信



ロータリー：変化をもたらす
～ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ～



服部大次郎 「本庄江」

Rotary



Vol.2

August
2017

8

2017-2018 年度ガバナー 駒井英基



神野御茶屋

佐賀城下まち歩き

こう の お ちゃ や
神野御茶屋 (佐賀市神野)

佐賀城下周辺でもっとも宏壮な池泉回遊式の庭園が神野御茶屋です。幕末佐賀藩をリードした藩主鍋島直正（閑叟）公が別荘として1846年に造営したのがはじまりです。直正公はここに家族や藩士を招いたほか、期間限定で領民にも開放しており、1日で2万人近くが押し寄せた記録も残されています。時には佐賀城を離れたこの場所で他藩士との密談も交わされ、フルベッキも訪れています。大正12年に鍋島家から佐賀市に寄附されて以来「神野公園」として開放され、現在でも四季折々の風情を楽しむことができます。

公益財団法人鍋島報効会
徴古館 主任学芸員

富田 紘次 (とみた こうじ)

1981年熊本市生まれ。同志社大学および同大学院を修了後、京都・洛南高等学校日本史講師、熊本市立博物館などを経て、2008年より公益財団法人鍋島報効会（徴古館）に学芸員として勤務。2015年から主任学芸員。財団に無償寄附された旧佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来資料を通じ、鍋島家や佐賀の歴史を読み解いている。

もくじ

CONTENTS

■ ガバナー挨拶	2
■ ガバナー補佐リレー随想	3
■ 地区委員長挨拶	4
■ 会長・幹事・米山記念奨学委員長セミナー報告	13
■ 地区研修・協議会報告	14
■ ロータリー財団奨学生研修会報告	15
■ 文庫通信	16
■ 事務局連絡一覧表	17

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2740地区
2017-2018年度 ガバナー

駒井 英基



この月信が発刊される頃は、ガバナーとして活動を始めて1か月を経過したことになっている頃です。ガバナー訪問は、約1/3ほど勤めている時期ですが、まだまだこれからという頃です。

また、8月は、会員増強月間ですので、早速、東彼杵のコミュニティーセンターにて会員増強と公共イメージ向上セミナーが開催されることになっております。今年も佐藤委員長の下、会員の増強を皆様方の協力を賜りながら強力に努めていかななくてはなりません。

また、今年から新設委員会として、IT公共イメージ向上委員会・クラブ管理運営委員会が発足いたしております。その中の活動の一貫としてRIが求めています、地区内各クラブのクラブセントラルへの登録を進めるために同時開催のITセミナーにて、登録の仕方などの実務のセミナーも併設して開催したいと考えております。しかし、本来の目的は、登録だけでなく、各クラブさんが取り組まれている日頃の奉仕活動内容を世界に発信していくことにあります。同時に地区のHPやSNSでも発信して参りたいと考えております。どんなことも小さな一歩から始めなくてはなりません。どうぞその面でもご理解と御協力をお願いしたいと願っております。



ガバナー補佐リレー随想

第1グループ ガバナー補佐

八頭司 博

(小城RC)



不安一杯のスタート、2017年～2018年、第1グループ・ガバナー補佐が始動しました。

始動は緊張の中に4月20日を皮切りにガバナー補佐就任の挨拶をして回りました。

これまでのメーキャップと異なり、異風望外の歓迎を受け、新たな緊張の中に、ことは一瞬に通り過ぎ去りました。

各ロータリーさんを訪問し再認識したことは「ロータリーは素晴らしい」の一言に尽きるでしょう。その心は、どんな美辞麗句を並べて褒めたたえても「社会倫理性」に基づく友情と職業奉仕の繋がりから生まれる「ロータリーの心と原点」にあるのではないのでしょうか。

訪問した佐賀ロータリークラブ、佐賀大和ロータリークラブ、多久ロータリークラブ、牛津ロータリークラブは、どのクラブも個性ある中身で価値観を意識し表現をしている素晴らしいクラブでした。

ここでは2クラブを紹介いたします。

佐賀大和クラブさんにおかれましては、先にクラブの価値観と申しましたが、その中身を取り上げ紹介しましょう。その心は、友情を第一とする「毎日会える楽しいクラブ」。

第二に会員一人ひとりが友情にあふれ誇りをもち、地域に貢献する気迫に溢れている。

第三に年間を通じ、月間の活動計画を明白にされ実施されている。

第四に外部に対するホームページの充実。

など地域貢献は勿論のこと会員確保をも意図するホームページの開設にも私自身感動し疲労感に満足した次第です。

次に牛津ロータリークラブさんをご紹介します。

牛津ロータリークラブさんは、5月27日に創立40周年を迎えられました。山本康德会長さんは挨拶にも「地域に奉仕するロータリー」と位置づけ普段の活動がいかに活発か、また内容が豊かであり、内部活動についても2年間の積立を行い家族旅行の実施はロータリー活動の礎となり、素晴らしい実感でした。

地域発展はもとより、内外共にさまざまな事業に積極的に取り組まれています。

記念講演に「青年塾長」上甲 晃氏が「己の損得を超えて」と題して1時間40分の講演がありました。

経営に関する講演の内容は、経営者の基本的姿と将来のあるべき姿を、実現の段取りから実行まで経営の三条件としてこんな人間になる、こんな人生を送る…人間の経営について1時間40分の緊張溢れる内容の拝聴でした。

ロータリーを「楽しみましょう!」ロータリーを「楽しもう」ロータリーの発展は、地域、各クラブの相互を超えてロータリアンの心と友情で結束して行きましょう。その精神は日本を支え発展に貢献できる要因を備えている。と、言っても過言ではないでしょう。

最後に駒井英基ガバナーは「地域社会にも変革を!」を地区運営方針として挙げておられます。第1グループを訪問し、正に変化の動きが始まっている様相を肌で感じる訪問でした。これを起爆として駒井ガバナーを盛り上げ、新しいロータリーを築いて行きましょう。

地区委員長挨拶



クラブ奉仕統括委員長

高木 義和

(島原RC)

変革と改善

地区クラブ奉仕委員会は、愈々、従来の会員増強と共に新たにIT公共イメージ向上委員会を設け、クラブ管理運営委員会を礎に「クラブサポートと強化」「公共イメージと認知度の向上」を目標とするロータリー戦略計画を推めるべく組織を改めました。

五大奉仕活動には、他に類の無いロータリーの特徴であり根拠となる職業奉仕。ロータリーの醍醐味で貢献度溢れる財団と青少年を含む社会奉仕。そして、己を耕しクラブの基盤と骨太さを築くクラブ奉仕はロータリーの基本です。その基本なくして、ロータリーの発展は考えられません。

57クラブのサポートとして管理運営委員会が窓口となり、クラブの問題点・少人数クラブの運営・規定審議会クラブ奉仕関係改正・ITへの理解・事業構造の変化・国際指向の拡散等時代はスピードを加速して刻々と変化しており、柔軟性、多様化、リーダーの育成・ロータリーブランド向上認知・ネットワーク等価値観を更に充実させて、クラブの発展に寄与助力して参ります。

これからは、クラブの問題点解決と目標達成を幅広く計画立案する事が肝要です。

例会の進行は各クラブ変わらないようですが、その雰囲気は57クラブ夫々異なって感じます。例会で一人一人相見え、クラブの特色を出しつつ、自主性を重んじ、奉仕の理想に向かって進んでいるか、着地点を見定め、長期計画をしっかりと立案し、毎年変わらぬ活動と変化による対応ができる柔軟性を持ち、易簡而理を得るか、一丸となって邁進して行ける様、変革改善して戴けることを願います。



IT公共イメージ向上委員長

久保 泰正

(諫早西RC)

ロータリアンに 変化をもたらす!

本年度のRI会長テーマは、『ロータリー: 変化をもたらす』と掲げられました。これはロータリーの奉仕の力で世界中の困難な事や地域社会に必要なとされている事に「より良い変化をもたらそう」というものです。しかしながら、私たちが地域社会に「より良い変化をもたらす」為には、まず私たちロータリアン一人ひとりが変わらなくてはなりません。ロータリアン自身が、地域社会が何を必要としているのか情報をひろく集め、またロータリーの奉仕活動自体を広く地域市民に理解してもらわなければなりません。そのために、その一人ひとりのロータリアン自身が変わるお手伝いをするのが当委員会の役目と思っています。

図らずも2740地区に今年度新たにIT公共イメージ向上委員会という部門が作られました。IT=コンピューター技術等のハード的な面と公共イメージ向上=ソフト的な面を兼ねたかなり幅広い分野を受け持つ委員会です。

まず当委員会ではロータリアン一人ひとりにMyRotaryの登録をお願いしたいと思っています。マイロータリーとは、ロータリーの活動や、地区、クラブ運営に必要な情報やデーターを随時ロータリアン個人が入手できる便利なシステムの事です。

今までロータリーに関する情報は、クラブ会報、地区ガバナー月信、ロータリーの友といったアナログ情報を主体とした受け身の情報でしたが、MyRotaryを登録することで、クラブ・地区・日本・世界中のロータリークラブのデジタル情報が、あなたのお手元に瞬時に届き、あなたのロータリー奉仕活動に劇的な変化をもたらしてくれるに違いありません。

皆様には地区大会までに、再度MyRotaryの全員登録をお願いして、私の就任あいさつに代えたいとおもいます。一年間どうぞよろしく願います。

地区委員長挨拶



会員増強委員長

佐藤 豊

(長崎琴海RC)

会員増強の現状と長期戦略

日本のロータリーの会員数は13万人を記録したが(97年6月末・2,238クラブ・131,731人)、98年以降、連続して会員数の減少を余儀なくされた。ここ数年の統計資料は、減少に歯止めができていないが、決して安定的ではない。ロータリー関連の資料や各地区におけるあらゆる会合、セミナーにおいても改善策、解決策が熱心に検討されているが「これで大丈夫」と言える決定的な答えは見出されていない。

【会員減少の問題点】

会員数減少の原因を分析すると、まず退会防止が第1の原因である。

- 世界と日本全域に、不況に伴う不安定、不透明な経済環境→退会
- 高齢、病気、死亡→退会
- 地方都市の過疎化→退会
- 事業の合理化に関する職務多忙(例会に参加できない)→退会
- 例会時間帯、例会費が高い→退会…負担
- ロータリー情報不足、理解不足(ロータリーの魅力がわからない)→退会…失望感(期待はずれ)
- (入会3年未満の退会者が多い)

会員減少の第2の原因

- 円熟したロータリアンの熱意不足…せっかくの貴重な経験や豊富な知識が活かされない
- 炉辺会談の不足(建設的、親密な人間関係が築けない)…ロータリーの過去の歴史や現在・将来を時間を気にせず語り合う機会が失われつつある
- 「ロータリー愛」が全般的に薄れる傾向…熱いハートでロータリーを語る人々が減少
- ロータリー本来のもつ、ステータスや魅力にかげりが発生しているのでは?
- (1業種1名、メイクアップ期間延長など価値判断基準の多様化)
- クラブ会長の会員増強スイッチがONでない
- クラブ会長・幹事は奉仕活動に優先順位があり、会員増強の順位向上ができない
- 会員増強は誰かがやってくれるという「他力本願」的な考えに支配されていないか?
- 会員増強委員会は、社会不安の中、地域内での増強見込みに消極的になっていないか?
- 女性会員への理解不足

会員増強に対する
専門的知識や
方法・手段が不足

などが考えられる。

【会員減少に類する問題点】

- 8月の会員増強月間で提唱された熱意が持続できない。
- クラブ会長、幹事が会員増強について、具体的な方針や計画を持たない。その結果、熱意、使命感を持って訴え続けられない。
- クラブ奉仕関連、会員増強セミナーなどで学んだことが、ホームクラブに完全に伝達されていない。
- 「委員会報告」で発表して終わり。(義務的な出席、資料を受け取って自己満足→会員増強に反映されない)
- クラブ運営の理事役員において会員増強の年間を通した長期的展望がない。
- 女性会員の入会に拒否反応を示す会員がいる。

【会員減少に類するその他の問題点】

- 女性会員の入会について、積極的に推進しようという雰囲気づくり、理解を深めようとする努力の欠如がある。(女性経営者の増加、女性だからこそできる職業分類上の増大、女性会員が入会されることによる効果など)
- 退会者を再入会へと促す視点の欠如。
- 入会を進めるに当たって、テキストになる具体的な資料がない。(入会のしおり)
- 新しい会員にロータリーへの理解を助ける具体的な資料がない。
- (入会3年未満の会員向け…平易な言葉と写真付のテキスト、ビデオテープ・DVDなどの映像)

【問題点を解決するために】

- どのような道程を考えれば良いか、更に効果的で満足感、達成感を実感できるか。私たちに求められる共通課題として、共に考えを進めよう。
- また、入会金制度の廃止や例会数の月2回以上への移行など、急激な変化をもたらすRIの方針は、会員増強にも直接的な影響が考えられるため、各地区や各クラブの活動にも大きな見直しが望まれる。

駒井ガバナーの会員増強目標値

会員50名以上 2名純増 会員50名未満 1名純増

地区委員長挨拶



クラブ管理運営委員長
竹田 健介
(平戸RC)

クラブ奉仕統括委員会と会員増強委員会だった組織に、このたびIT公共イメージ向上委員会とクラブ管理運営委員会の2つの委員会が新設されました。早くからロータリーの奉仕活動を世間の人々に認知していただく必要があるとの思いから、公共イメージ向上は言われていましたが、クラブ管理運営委員会としての位置づけはクラブのサポートと強化ということです。それぞれのクラブが会員増強を図り、クラブの魅力を高める努力をしているにもかかわらず、会員の退会を防げないのが現状です。それを各クラブの力だけではなく、地区全体のこととしてどうしたらクラブの活性化を図っていくかを考えていくことが求められていると考えます。私は2013～2014年度の塩澤ガバナーの地区幹事として55クラブ（2クラブは代理の人に頼みました）を訪問させていただきました。それぞれにクラブの伝統と持ち味があり、会長の思いが反映されていて好感がもてるクラブばかりでした。その中でも魅力のあるクラブの条件というものを感ずることができました。以下それを述べさせていただきます。

- ①会長の言動がしっかりしている。幹事がそれをしっかり支えている。
- ②会員が生き活きとし、皆が協力しあっている。
- ③傍観者ではなく自分の役割を果たしている。

等々

ロータリーは自分の仕事を通して地域に貢献していこうという人の集まりです。さらに力を合わせて社会奉仕をし、国際奉仕にまで高めていこうという崇高な精神で満ちあふれています。また「ロータリーの例会は人生の道場である」とは先達の言葉です。楽しく、充実した例会にしていきたいと思います。



職業奉仕委員長
吉岡 義治
(佐賀南RC)

2017-2018年度のロータリーのテーマは『変化をもたらす』であります。

国際ロータリーの2016年の規定審議委員会において、手続要覧、定款第5条のロータリーの目的には、何ら変化はありませんが、第6条に5大部門という項目があり、それぞれの部門の奉仕のあり方が明記されています。

2016年度規定審議委員会において、5大奉仕の規定がなされました。

内容としては、ロータリーの目的にある「奉仕の理念」を順守しつつ、活動、実践することが求められています。

昨年の規定審議委員会の中で、職業奉仕の規定に団体活動も追加されました。

そこで今年は地区の皆様とともに、ロータリーにおける職業奉仕も含めて「奉仕の理念」は私達、ひとりひとりにとって、何を意味するのかを改めて考えていただき、他にはない、ロータリーの魅力を皆様方のクラブの会員の方々にお話ししていただければと考えております。

9月には第2650地区、2016-2017年度刀根莊兵衛ガバナーを講師としてお招きし、職業奉仕セミナーを開催いたします。

また、1月の職業奉仕月間では、各クラブで、従来からの「職業奉仕論」の卓話に加えて、RIの推奨する団体としての職業奉仕活動についても、企画し、行動して各クラブの活性化を図っていただければと思っております。

地区委員長挨拶



社会奉仕委員長

帯屋 徹

(大村RC)

昨年度に引き続き社会奉仕委員長を務めさせていただきます。皆様にはご協力賜りますようお願い申し上げます。

3月19日に次年度地区社会奉仕委員会を開催し、委員の皆様とともに、前年度の委員会の活動を検討し、今、ロータリー活動に求められていることを鑑み、今年度の委員会の活動テーマ並びに活動方針を決定させて頂きました。

2017～18年度地区社会奉仕テーマ：

『社会奉仕活動を通してロータリーの公共イメージの向上をはかる』

活動方針

1. 「ロータリーデー」の推進

- ・地域の祭りやイベントに参加しロータリーへの理解を促す
- ・ポリオ撲滅運動の紹介や募金活動
- ・東日本大震災や熊本大震災などへ募金活動
- ・地域の人たちにロータリー活動の紹介

2. 地区補助金を活用した社会奉仕事業の拡大

- ・2740地区には地区補助金として利用できるお金が年間500万程度ある訳ですが、すべて有効に利用されているわけでは有りません。この補助金を有効活用してロータリーの社会奉仕活動を盛り上げていきましょう。

3. 「児童虐待防止推進月間」取組強化

- ・毎年11月は「児童虐待防止推進月間」です。2740地区の57クラブが同じ目標で活動することが、大きな話題となり市民の理解や関心を促し、幼い命を救う一助になるのではないのでしょうか。

以上の内容につきましては、5月20日に開催されました「地区研修・協議会」において、各クラブの社会奉仕委員長にはご説明いたしましたが、各クラブの会長をはじめ会員の皆様にもご理解をいただき、各クラブで取り組んで頂けたら幸いです。

1年間を通し、各クラブが有意義な活動を実施されますことを祈念申し上げ、就任のご挨拶に代えさせていただきます。



青少年奉仕統括委員長

奥村 豊

(唐津RC)

昨年度に続き青少年奉仕統括委員長を務めさせていただきます。本年度も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年度も申しあげましたが、ロータリークラブの五大奉仕の一つに「青少年奉仕」があります。青少年奉仕部門はインターアクト・ローターアクト・RYLA・国際青少年交換の四委員会があり、それぞれ委員会が有意義な活動を行っています。青少年奉仕統括委員長は、この四委員会を掌る位置づけになってますが実際には各委員長指導の下に個別に活動されています。昨年度は、インターアクトでは少子高齢化によって生徒数が減少し、各クラブの会員が減少傾向にある中、佐世保高等専門学校にIACができ、21校が22校になりました。ローターアクトもほとんどのRACの会員数が減少しており、活動にも支障をきたしているのが現状で、昨年度青少年奉仕委員会で提唱してます、「インターアクトからローターアクト」での実践を2クラブではありますが、交流活動が始まりました。今年度も一層の交流でお互いの理解から会員増強に成ればと期待しています。RYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）はロータリー主催で行われる若者のためのリーダー育成プログラムです。青少年の研修だと私は認識しています。今年度も大いに期待します。

そして国際青少年交換委員会は派遣学生の研修指導、来日学生の世話は大変なことです。そして危機管理の対策も大事です。楽しく学生生活できるように危機管理委員長として対策を講じていきたいと思ひます。今年度も青少年奉仕四委員会の自主活動はもちろん四委員会の交流を深め青少年部門が一体となる活動になるように努力したいと思ひます。改めてよろしくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶



国際青少年交換委員長

藤山 英周

(唐津RC)

昨年度に続き本年度も国際青少年交換委員長を務めさせて頂く事となりました。

今年度は3名の委員が交代して9名の委員にて運営してまいります。また昨年同様委員会全員で情報の共有し役割分担を図りたいと思います。

またオリエンテーションの開催場所も昨年同様の会場の使用をご同意頂き安心して開催できる事となりました。

本年度の派遣学生はオーストラリアに2名(1名は派遣中)、アメリカに2名派遣します。来日学生はオーストラリアから2名(1名来日中)アメリカから2名の4名の受け入れとなります。

毎月のオリエンテーションでは来日学生は日本語でのスピーチを行い日本語の習熟を図ります。派遣予定の学生にはプロジェクターを使用して住んでいる地区や行事、学校・家族等の紹介が英語でスピーチ出来る様に研鑽と指導を行います。

昨今留学希望の学生が減少して苦戦していますが、ロータリー会員の子弟が参加できる唯一のプログラムですのでご検討いただきたいと思います。また来日学生受け入れのクラブも経済的等の理由で減少していますが、単一クラブの受入れだけでなく地域の複数のクラブ合同の受入れも可能かと思っています。

是非伝統あるこの事業が成功すべく皆様のご理解と協力をお願い致します。



インターアクト委員長

松田 洋一

(諫早北RC)

昨年度から引き続き今年度もインターアクト委員長を務めさせて頂きます。

地区委員メンバーと一緒に、他の青少年関係の委員会と連携をとりながら、一年間頑張っていきたいと思いますので、皆様のご支援のほど、宜しくお願いします。

現在2740地区では、前年度、佐世保北RCの提唱の佐世保工業高等専門学校インターアクトクラブが新しく発足され、21のロータリークラブが提唱する22インターアクトクラブが活動しています。

今年度は、既存のインターアクトクラブの部員の減少に歯止めをかけ、活性化をしながら一つでも新しいインターアクトクラブを発足させられるようにまだ提唱クラブをお持ちでないロータリークラブ様に、是非インターアクトクラブを提唱して頂くように、お願いして拡大をしていきたいと思っています。

地区の委員会では、アクターの活動が円滑に継続して行われる様に、アクターと顧問教諭を対象に、年2回の指導者研修会を計画しています。

また今年度で、第35回目となります年次大会を、ホスト校 有田工業高校(有田RC提唱)、コ・ホスト校 唐津西高校(唐津RC提唱)、武雄高校(武雄RC提唱)で計画実行をして頂いております。

そして、次年度の事業ではございますが、全国インターアクト研修会を、九州4地区でホストをする事になっておりますので、今年度から準備をしていきます。

福岡で開催されますので、沢山の方に参加をして頂けることを期待します。

地区委員会では、インターアクトクラブをロータリアンの方々と共に大きな心で見守って協力・支援を惜しまない活気ある委員会活動を行っていく所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶



ローターアクト委員長

松尾 慶一

(佐世保RC)

今年度の、ローターアクトクラブの地区委員長を拝命して、また新しい経験ができる事へ期待と希望を抱きワクワクとした気持ちになっております。

歴代の委員長さんたちのこれまでのご努力を引き継ぎながら地区委員の皆さんと協力して1年間を全うしたいと思っております。

また、青少年奉仕活動はインターアクト・ローターアクト・ライラ・国際青少年交換という4つの委員会が互いに助け合って活動をしておりますので統括委員長と連携を取りながら、より良い方向を模索して参ります。

ところで、青少年の4委員会を見渡しまして共通して懸念している所は私たちロータリアンが、どのくらいこれに関心を持っているかと言う点であります。

私は、中学校の時にロータリーの家族会へと父に連れられて行きましたが、奉仕と言う言葉とは無縁でした。ところが高校へ入り縁あってJRC（青少年赤十字団）に入会しまして、愛と奉仕と人道を学び奉仕活動を実践いたしました。

12年前に佐世保ロータリークラブに入会させて頂き、高校時代を思い出しました。そして、縁なものでインターアクトの役員をさせて頂き、ローターアクトへと導かれているような気がいたします。現在の高校を見てみるとJRCは無くなりました。おそらく、それがインターアクトクラブへと移行したのではないかと希望的観測を持っております。そのインターアクトからローターアクトへと引き継いで行かれるはずと思っておりましたが現実には厳しく、ローターアクトのクラブ数は年々減少しているではありませんか。このローターアクトは1968年に提唱された素晴らしい青少年育成プログラムでありますので、何とかしたい、積極的に関わり合い、健全な育成に取組まなければならないと思います。

第2740地区の会長さん、役員さん達はローターアクトの必要性について十分な関心が有られると思います。よって、現在活動しているクラブを減らさない様に精一杯、支援しながら地区委員の皆さんと協力して参ります。



RYLA委員長

山口 宏二

(長崎RC)

本年度より、新しくRYLA地区委員長を担当する事になりました長崎RCの山口です。初めての地区委員長となります。宜しくお願いします。

まずは、第38回RYLAが伊万里RCをホストクラブとして5月27日、28日2日間にわたり佐賀黒髪少年自然の家にて開催されました。多くの青少年並びにロータリアンの参加のもと無事盛会に行われた事に対して心から感謝申し上げます。来年第39回は多久RCにて、そして記念の第40回大会は島原南RCがホストクラブとしての開催が決定しています。このRYLAの開催につきましては、各クラブの理解を得ながら地区内で持ち回りにて開催されています。今後41回大会以降の開催にあたってホスト開催をお願いするクラブにおかれましては、青少年の指導者育成の観点からご理解いただけますよう宜しくお願い致します。このように40年近くRYLAが開催された事については、やはり温故知新『故きを温ね新しきを知る』、各開催クラブの青少年への熱い思いの継承があったからだと思えます。過去の開催クラブの思いを受け継ぎ、それから時として時代背景を考慮しながら参加してくれる青少年への実りある指導者育成プログラムを開催できればと思います。

しかしながら近年地区内の青少年活動については、厳しい状況にあります。RACの会員数並びにクラブ数の減少、事業継承の変化、青少年の価値観の多様化、地域間格差など、私達ロータリアンが青少年を指導育成する環境が厳しくなり、活動が縮小化しています。

このような状況の中、微力ではありますが、今一度青少年の指導者育成活動の活性化の為、地区内で、情報を共有し議論し、活発に活動できる環境づくりを進めて参りたいと考えております。ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

敬 具

地区委員長挨拶



ロータリー財団委員長

西川 義文

(大村RC)

昨年度はロータリー財団100周年として、委員会活動にご協力を賜ったことに感謝申し上げます。特に残り3カ国、0.1%となったポリオ撲滅「END POLIO NOW」運動への寄付等のご協力に衷心より御礼申し上げます。

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」(Doing good in the world)の標語のもと、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。」というロータリー財団の使命に添い、海外や地区内クラブの国際奉仕や社会奉仕事業等へ支援を行ってきました。2017-18年度、駒井ガバナーは「地域社会にも変革を!」と述べられています。

ロータリー財団委員会として、新たな視点と試みで補助金活動を更に遂行し、各クラブが行う奉仕活動を通じて、変革を遂げた者の集まる集団の奉仕活動を支援していく所存です。

皆様から戴く①年次基金、②恒久基金、③ポリオプラス基金等への寄付は、地元や海外で実施される多様な活動を支援する資金や人々の生活がより良くなるための補助金となって活用され続けられるのです。

今年も各クラブの行う地区内や海外への人道支援を地区補助金やグローバル補助金として有益に活用出来るよう支援を行い、地区目標に沿った活動を推進して参ります。

皆様のご協力をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



補助金委員長

隅 康二

(佐賀西RC)

今年度のロータリー財団・補助金委員会を担当させていただきます。

補助金活動はロータリアンが、そのポリシーを実践する場としてコアな部分にあたります。全世界のロータリアンが共通体験できる身近な活動は“世界平和”、“貧困救済”、“教育”、“環境改善”などを中心として行う 1) 地区補助金による地域のための活動、2) グローバル補助金による国際的な活動、3) 海外へ留学生を輩出できる活動の3部門で構成されています。

さて、現在では上記のような明確な呈示ができるようになりましたが、6年前に財団活動を大きく改革する「未来の夢計画」が掲げられた折には、委員会がどのように組織され、補助金申請がどのような段取りで進めていくものか世界中のロータリークラブが困惑し、2740地区も暗中模索で活動を行いました。このために、“財団の話はわかり難い”との声をたくさん頂きました。それは、委員会を担当する私どもも不確かな情報しか入手することができず、システムが把握できなかったという背景がありました。

時は流れて、財団活動の仕組みが明瞭となり、今年度より補助金の申請システムの簡素化を図る試みを行っております。手続きの煩雑さはかなりダイエットされていますので、ぜひ積極的な活動を計画、申請して頂ければと思います。私たちの地区内では、地域の子供たちを支援するユニークな活動もありますし、海外を活動の拠点とする大きなテーマの活動もあります。クラブ内、或いは協力支援団体と一緒に、思い切ってチャレンジして頂ければと思います。当委員会はその成功をサポートする委員会として活動を進めて参りたいと思います。なにとぞよろしくお願い致します。

地区委員長挨拶



資金推進委員長

永尾 竹則

(佐賀西RC)

2017-18年度国際ロータリー第2740地区資金推進委員会委員長を仰せつかりました佐賀西ロータリークラブの永尾竹則と申します。本年度も昨年度に引続き資金推進委員長として、ロータリークラブの地区あるいは国際的な奉仕活動に対するご寄付をお願いさせていただくことになります。今年度1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

まずは、昨年度、国際ロータリー財団100周年の年に当たり、2740地区の各クラブの皆様から多大なご協力を頂きましたことに対して、御礼申し上げます。今年度からは、新たにつぎの100年に向けて引続き皆様のご協力を頂ければ幸いに存じます。

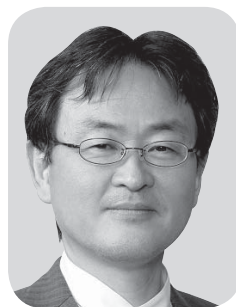
さて、今年度の当地区の年次寄付の目標額は、昨年度に引続き1人平均150ドル/年間です。同時に、引続き寄付ゼロクラブをなくすことです。

当地区では、今年度の運営方針に、人道的奉仕にもう一度目を向けよう、ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指そうというのが掲げられています。人道的奉仕には活動資金として頂いた皆様のご寄付から使われることになりますし、奉仕活動を行わなければ多くの方から公共イメージも持ってもらうことはできません。公共イメージを広く認知してもらうためには広報も必要ですが、その根本には奉仕活動がなければいけません。その意味で、皆様からのご寄付が大変重要になります。

ご寄付を毎年頂くのは大変なことかと存じますが、ロータリークラブの重要な要素である社会奉仕を充実させロータリークラブを発展させて行く為にも、各クラブの皆様からのご寄付をお願い申し上げます。

各クラブの皆様から頂いたご寄付は全てロータリークラブの奉仕活動に使用されます。今後ますます充実した奉仕活動のために引続き財団へのご寄付に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上



ポリオプラス委員長

溝口 尚則

(佐世保RC)

本年度もポリオプラス委員長を拝命致しました溝口です。昨年度に続きポリオプラスにご寄付を誠に有り難うございます。毎年少しずつではありますが寄付額も増加しておりポリオ撲滅に対する意識も上がって来ているように思います。

ポリオプラスは、世界からポリオを撲滅するというロータリーの大規模な活動です。このポリオプラスの運動でアフリカと中東以外の国ではポリオの撲滅ができました。昨年度は、アフリカでのポリオ発生数が0であと少しというところでナイジェリアでポリオが発生しました(2017/3/14発)。これによりアフリカの西部、中部の1億1600万人の子供を対象にポリオを恒久的に根絶する為の緊急処置としての予防接種が現在行われています。撲滅まであと少しというところでいつもポリオが発生しますが、確実にすこしずつではありますが撲滅に向けて活動が進行しています。

日本でのポリオ撲滅に対する意識も年々高まって来ています。寄付額の増加のみではなく世界ポリオデーなどでのイベント開催によるポリオ撲滅活動のアナウンス等を通して確実に日本の一般の皆様にもわれわれの活動を理解して頂いて来ているように思います。このようなロータリーの運動に2740地区も財団からの寄付も頂き確実に私たちのポリオ撲滅への気持ちも運動に届いていると考えています。

今年度も、がんばってポリオ撲滅に2740地区として出来るだけの努力をして行きましょう!

今後も宜しくお願い致します。

地区委員長挨拶



資金管理委員長

岡村 康司

(長崎南RC)

当委員会2期目(1期3年)の委員長を拝命しました長崎南クラブの岡村でございます。

当委員会は、財団から各クラブに助成された補助金が各クラブにおいて適正に管理されるよう支援することを最大の目的としています。補助金の申請から実行後の報告に至るまでの書類にかかる規定がやや厳格で複雑なため、会計の専門知識が必要なところも数多くあることから私のような職業専門家に番が回ってきたと思っております。また、難解なものを極力平易なものにしていくこと、これも大事な目的であるので職業奉仕の一環と考えて職務を全うしたいと思います。

2013～2014年度に初めて設置されたこの委員会も4年が経過して、各クラブにおかれても補助金への理解が深まったものと思いますが、今年度も次の4項目に沿って活動致します。

- ①財務管理計画書および地区との覚書(MOU)の作成
- ②財団セミナーや補助金セミナーを通じて各クラブの補助金に対する意識と理解を高めることで補助金事業を支援していく
- ③補助金に関する利害対立を未然に防ぐ手段を講じる
- ④資金の不適切な利用や管理がないよう周知を行う

以上、このような活動方針で参りますので1年間よろしくお願いいたします。



米山記念奨学委員長

大家 和義

(小城RC)

昨年度より、今年度と思って引き続き、米山記念奨学地区委員長を拝命させて頂きました大家和義(小城RC)です。前任の本多委員、地区委員の経験者である本村・牧・近藤・中嶋さんの留任をお願い、更に良い結果を残せるように頑張っています。

これまで総ての事業に悔いを残さぬ様に心掛けて居りますが、思う様にお世話出来ずに申し訳ないと思っております。また、総ての米山記念奨学生への配慮が充分出来るのか心配ですが、地区委員の本多委員には顧問・学友会担当、本村委員には奨学生担当、中嶋委員には寄付増進担当として、ご指導を頂きたいと思っており、他の地区委員の皆様のご協力をお願いし、頑張ってお努めて行きますので、第2740地区内の57RCの会員の皆さん、特にクラブ米山委員長の皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。

駒井ガバナーより、年間個人平均寄付額¥16,000円/人を目指すことを、地区研修・協議会等の折に呼び掛けて頂いておりますので、私と共に地区委員とカウンセラーの皆様には米山月間の10月前後に実施する「出前卓話」にお供して頂き、個人平均寄付額の目標達成を呼び掛けて頂く様、お願い申し上げます。

2017-2018 年度会長・幹事・ 米山記念奨学委員長セミナー報告

米山記念奨学地区委員長
大家 和義 (小城RC)

5月14日(日)、2017-2018年度の地区内の米山記念奨学委員長と一緒に、会長・幹事を対象とした第1回セミナーを開催しました。

まず、本村地区委員の司会のもと、開会とともに「国歌」・「奉仕の理想」を斉唱し、出席者の紹介を地区役員及び地区委員にとどめ、学友会と米山奨学生は後半で自己紹介をし、自己のPRをして頂く様にしました。

最初に、駒井英基がバナーエレクトより、2017-2018年度の目標額16,000円/人を地区研修会で提唱しているので、米山記念奨学委員長と会長・幹事の方々には、達成出来る様に今までとは違う方法を考慮して頂き、目標額を達成して頂く様、強く激励して頂きました。

続いて、パストガバナーの高城昭紀米山記念奨学会の評議員より、「米山記念奨学事業」について、講義をして頂きました。この事業は、戦後の日本が恒久平和であり続ける為に、東京ロータリークラブの提唱により始まった、日本独自の事業であり、海外からの留学生は、将来は自国の指導的立場に成るであろう若人達に、日本の文化と歴史、日本人の人柄と心を理解して頂き、日本国が求める世界平和の一翼を育てる為に、継続しなければ成らない事業であることを講義され、参加されたロータリアンに充分理解して頂いたものと思っています。

その後に、大家地区委員長より、米山記念奨学会と第2740地区の状況について、PPTを見ながら、米山基金から米山記念奨学金となり、カウンセラー制度及び国内最大級の事業規模であることを説明し、当地区の2017-2018年度の学生数、出身国などを紹介し、奨学生の選出についてのフローチャートを流れに応じて補足を入れ、最後は面接試験を行ない、面接官全員で選んでいることを説明し、また面接官においては、面接官オリエンテーションを受講して頂かないと面接官に成れないことを理解して頂いたと思います。約1時間ほど、説明し休憩を取りました。

後半の最初に、DVD「広がれ人づくりの輪」を見て頂いてから、学友会の説明を本多地区委員と学友会ドーゴックビツ新会長(2015-2016年)より経験を活かし、本多地区委員より学友会に付いて詳しく話をして頂きました。

その後、近藤地区委員の指導のもと、当地区の学友会の役員5人の会長から監事が一人ずつ挨拶してから、2017-2018年の米山記念奨学生に自己紹介を名前・出身国・学校・勉強の目的などを語って頂き、「今期一年間宜しくお願いします」と、学友会会長が挨拶してくれました。

最後に、本村地区委員の閉会の辞にて終了しました。



2017-2018 年度地区研修・協議会報告

地区研修・協議会実行委員長
上村 春甫 (佐賀RC)

国際ロータリー第2740地区2017-2018年度地区研修・協議会が、去る5月20日晴天の中「ホテルグランデはがくれ」で、地区57ロータリークラブの次年度役員、10グループのガバナー補佐、パストガバナーを始めとして、地区の役員を含め417名の会員の皆様をお迎えして開催されました。

駒井ガバナーエレクトの点鐘により開会し、国歌・ロータリーソングの斉唱、本年度崎永ガバナーのご挨拶と続き、駒井ガバナーエレクトの次年度地区方針「地域社会にも変革を!」のご説明とイアンH.S. ライズリー次年度国際ロータリー会長のテーマ「ロータリー:変革をもたらす」の詳細についての説明をいただきました。休憩の後、岩永信昭パストガバナーによる演題「今、クラブに求められているもの」で基調講演を頂きました。会場を移動して6分科会それぞれに各部会のテーマに基づきリーダーから活動方針と各クラブへの伝達事項の説明がなされました。続いての全体会議では「次年度地区運営について」笠 慶宣次年度地区幹事より、地区組織についての説明と地区役員へのお願い・各クラブへの地区行事の説明がなされました。園田嘉生地区会計長からは、次年度地区予算案の説明に続き、次期クラブ会長による予算案の承認が行われ、満場一致でご承認をいただきました。最後に崎永 剛ガバナーより講評をいただき、福田金治ガバナーノミニの閉会の辞で、研修の部を終了し閉会の点鐘となりました。

最後にロータリーの根幹をなす親睦のための懇親会に移動して、牟田清敬佐賀ロータリークラブ会長の歓迎の挨拶に続き、野口 清パストガバナーの乾杯の発声で開宴しました。会場には佐賀特産の佐賀牛カレー・イカの活き造りや山海の珍味、近年クローズアップされて来た佐賀の酒が所狭しと並べられ、メンバーやクラブ同士の親睦に花を添えていました。最後まで和やかに親睦の輪が広がり「手にて手つないで」の斉唱に続き駒井ガバナーエレクトの閉会のご挨拶で、地区研修・協議会を無事終了しました。

最後になりましたが、地区研修・協議会の開催につきましては、駒井ガバナーエレクトはじめガバナーエレクト事務所の皆様方のご指導ご協力に感謝し、佐賀ロータリークラブ会員皆様のご協力で終了できたことを、ここに報告し、2740地区各クラブのますますの発展を祈念して、報告いたします。



ロータリー財団奨学生研修会

ロータリー財団補助金委員長
隅 康二 (佐賀西RC)

平成29年6月22日(木)、佐世保市ハウステンボスにて財団奨学生候補者の留学前研修会が開催されました。候補者の一名はイギリスにて「母子の健康問題」をテーマに留学を予定している酒井貴子さん(社会人女性)で、もう一名は同じくイギリスにて「マラリアの感染メカニズムの解明」をテーマとして留学を予定している外川裕人君(長崎大学熱帯医学研究所・大学院生)です。

二人にはロータリーの歴史、信条など学んで頂き、その後、留学先でお世話になるロータリークラブで卓話をする折のマナーやプレゼンテーション作成について研修を行いました。

二人とも大変優れた研究テーマを持っており、また堪能な英語で発表する準備が整っていましたが、イギリスの、ロータリークラブ例会での挨拶や発表としてはやや堅く、ジョークも不足しているなど財団の委員の方々からは厳しい指導など受けつつも、和やかな雰囲気の中で進められた研修会でした。

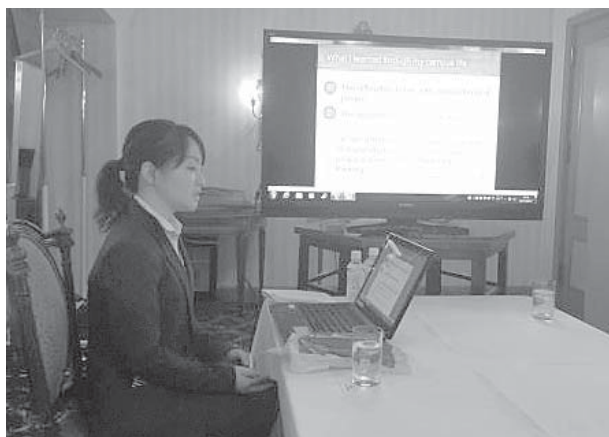
研修会参加者

2740財団委員長	西川義文(大村ロータリークラブ)
財団奨学委員長	喜多清基(島原ロータリークラブ)
地区補助金委員長	岡田金助(ハウステンボスロータリークラブ)
財団奨学委員	森本大輔(大村ロータリークラブ)
2740補助金委員長	隅 康二(佐賀西ロータリークラブ)
グローバル奨学生候補者	酒井貴子(社会人・文学士)

留学先: University of Sussex (イギリス・サセックス大学大学院)

地区補助金奨学生候補者 外川裕人(長崎大学大学院・獣医師)

留学先: The Francis Crick Institute (イギリス・フランシスクリック研究所)



プレゼンテーション中の酒井貴子さん



集合写真

文庫通信 (358号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「ロータリー概論ーロータリー史からみた奉仕の理想」 あわじ中央R.C. 2002 167p
- ◎「ロータリーエッセイ-英米史の中でのポール P.ハリス考」 矢作好英 2009 27p
- ◎「ロータリーの基本～研修の手引き」 本田博己 2012 40p
- ◎「全く私(わたくし)的なロータリーの記録」 井原俊彦 [2015] 83p
- ◎「職業奉仕を学ぶ」 D.2680 [2015] 108p
- ◎「クラブ会長スピーチ集」 D.2650 2016 94p
- ◎「『ロータリーの真髄』～変えてはいけないロータリー」 深川純一
D.2510 IM実行委員会 2017 31p
〔上記申込先：ロータリー文庫〕
- ◎「世界でよいことをしよう:ロータリー財団百年誌」
デイビッド C.フォワード R.I. 2015 296p
〔申込先：国際ロータリー日本事務局 FAX (03) 5439-0405〕
- ◎「ロータリー入門書2017～2018年度版」
前原勝樹・重田政信・渡辺好政 2017 227p
〔申込先：北斗事業出版 TEL (03) 5207-6681〕
- ◎「ロータリー財団ハンドブック」 D.2750 2017 112p
〔申込先：D.2750 FAX (03) 5472-2750〕

ロータリー文庫

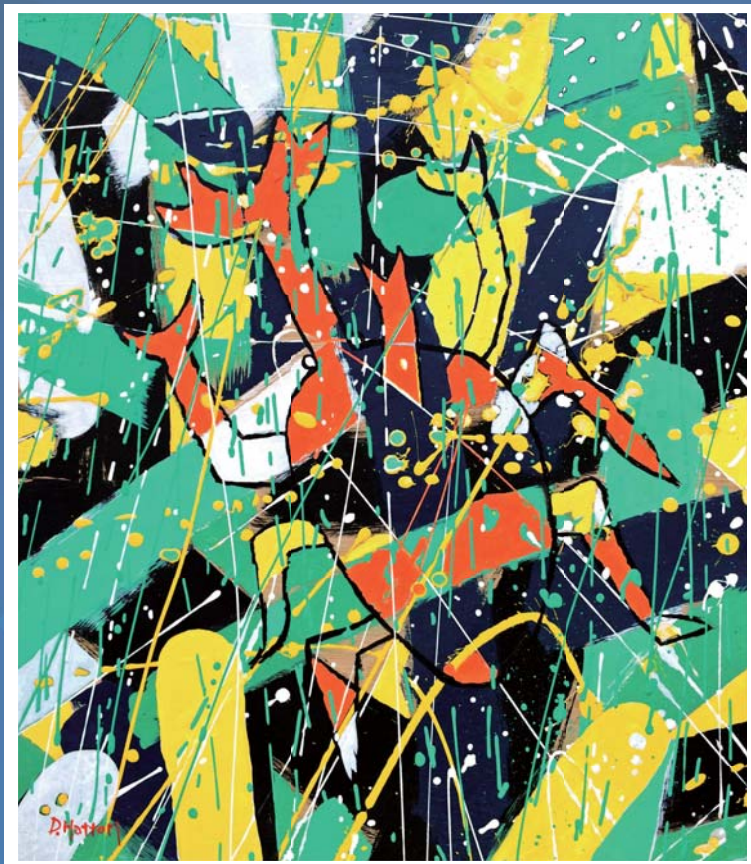
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリークラブ事務局連絡一覧表

グループ	クラブ名	会 長	幹 事	TEL	FAX	メールアドレス
第1グループ	佐 賀	副島真一郎	古賀 浩之	0952-22-7118	0952-20-7605	sagarc@hyper.ocn.ne.jp
	小 城	池田 安正	古川 博文	0295-73-4111	0952-72-4120	m_nisimu@ogi-cci.or.jp
	牛 津	今泉 孝之	明石 寿彦	0952-66-1463	0952-66-1463	usizu.rotary.club@gmail.com
	多 久	永石 喜八	古井 俊路	0952-75-2122	0952-75-2122	taku-rc2740@saga.email.ne.jp
	佐賀大和	井手 浩利	川浪 正大	0952-37-9180	0952-37-9180	yamatorc358@juno.ocn.ne.jp
第2グループ	佐 賀 西	宮地 大治	松本 一	0952-22-7119	0952-22-3866	sagaw-rc@po.saganet.ne.jp
	佐 賀 北	古川 清文	野中 毅	0952-20-1100	0952-20-1101	s-n-rc@aurora.ocn.ne.jp
	佐 賀 南	藤井 義博	北村栄一郎	0952-22-6145	0952-20-7710	s-src2740@wind.ocn.ne.jp
	神 埼	空閑 彰彦	下津浦 公	0952-51-4321	0952-51-4365	kanzaki-rc@guitar.ocn.ne.jp
	佐賀空港	承山 孝吉	大久保美季	0952-22-7119	0952-22-3866	cxc2xkks4@i.softbank.jp
第3グループ	有 田	福田 雅信	石川 慶蔵	0955-43-3120	0955-43-3140	aritarc@isis.ocn.ne.jp
	武 雄	谷川 大志	山下 功	0954-22-3644	0954-22-3659	takeorc@cableone.ne.jp
	鹿 島	織田 喜六	山下 義則	0954-62-2624	0954-62-2633	kasimarc@vip.saganet.ne.jp
	嬉 野	森 四朗	吉田 直樹	0954-43-0310	0954-43-0310	ureshinorotary@cocoa.ocn.ne.jp
	大 町	山口輝二郎	池田 英紀	0952-82-5002	0952-82-5059	ohmatirc@star.saganet.ne.jp
	白 石	大田尾一美	山口 繁喜	0952-82-5002	0952-82-5059	xf332483@dj8.so-net.ne.jp
	太 良	久保 信弘	秀島 寛	0954-62-2624	0954-62-2633	kasimarc@vip.saganet.ne.jp
第4グループ	唐 津	東島 吉隆	徳川 清隆	0955-75-0101	0955-73-3336	karaturc@iris.ocn.ne.jp
	伊 万 里	松本 壽雄	小山 晃	0955-22-3737	0955-22-3737	imarirc@arion.ocn.ne.jp
	唐 津 東	都市右太雄	平野功二郎	0955-75-0102	0955-73-3336	k-east-rc@circus.ocn.ne.jp
	唐 津 西	吉井 正司	牧原 康	0955-75-0103	0955-73-3336	karatsuwrc@vc1.people-i.ne.jp
	伊万里西	古賀 秀仁	栗原 充昭	0955-22-7878	0955-22-7878	i-westrc@po.saganet.ne.jp
	唐津中央	時津芽久美	中山 亘	0955-75-4643	0955-73-3336	ka-chuo-rc@vc1.people-i.ne.jp
第5グループ	佐 世 保	富永 雅弘	坂元 崇	0956-22-7720	0956-25-6323	src@circus.ocn.ne.jp
	平 戸	加賀江順市	江田 洋一	0950-22-3131	0950-22-3130	infohirado@hiradocci.or.jp
	佐世保西	吉武 直亮	樋口 聡子	0956-23-9030	0956-24-9292	wrotary@fsinet.or.jp
	北 松 浦	辻田 智一	横尾 成人	0956-62-4162	0956-62-4163	ri2740kitamatsuura@gmail.com
	松 浦	角野 智志	中山 吉則	0956-72-5678	0956-72-5678	matsuura.rc.2740@carrot.ocn.ne.jp

ロータリークラブ事務局連絡一覧表

グループ	クラブ名	会 長	幹 事	TEL	FAX	メールアドレス
第6グループ	佐世保南	小川 信	矢次 保夫	0956-22-5600	0956-22-5755	ssrc580110@beach.ocn.ne.jp
	佐世保東	鶴崎 耕一	西畑栄一郎	0956-39-5570	0956-39-5907	ssbestrc@gaea.ocn.ne.jp
	佐世保北	峯 徳秀	渡会 祐二	0956-22-7144	0956-22-1201	office@sasebonorth.org
	佐世保中央	岩政 孝	川島 千鶴	0956-25-5595	0956-25-3445	chuo.rc@theia.ocn.ne.jp
	佐世保東南	法本憲一郎	柳場 嘉邦	0956-76-8642	0956-76-8643	info@saseboes-rc.jp
	HTB佐世保	佐々木茂彦	中川 英俊	0956-58-4008	0956-58-4008	htbs2740@m21.alpha-net.ne.jp
第7グループ	大 村	森本 英敏	太田 陽子	0957-42-6192	0957-42-6193	omura.rc@cap.bbiq.jp
	島 原	花田 勝美	谷川 正文	0957-73-6131	0957-73-6132	rc2740shimabara@gmail.com
	雲 仙	金子壽重子	福田 宥晃	0957-73-3617	0957-73-2261	miyamoto@unzen.org
	大 村 北	庭木 秀男	上田 善行	0957-20-7205	0957-20-7206	omura-n-rc@celery.ocn.ne.jp
	島 原 南	森 誠	赤司 智子	0957-84-3883	0957-84-3883	shimabara-M-Rotary.club@shokokai-nagasaki.or.jp
	大 村 東	吉川 幸太	緒方 伸彦	0957-54-5155	0957-47-5119	oeast.rc@lily.ocn.ne.jp
第8グループ	諫 早	松原 究	立川豊三郎	0957-22-3323	0957-24-3638	icci35@abeam.ocn.ne.jp
	諫 早 北	辻本 隆	光石 尚彦	0957-22-3323	0957-24-3638	icci18@orange.ocn.ne.jp
	諫 早 西	塚原 浩三	山本 健志	0957-22-3323	0957-24-3638	icci41@ninus.ocn.ne.jp
	諫早多良見	橋本 満典	馬来 直志	0957-22-3323	0957-24-3638	icci10@orange.ocn.ne.jp
	諫 早 南	荒木 和美	中島 毅洋	0957-35-8686	0957-35-8786	rc373373@galaxy.ocn.ne.jp
第9グループ	長 崎	前原 晃昭	坂本 卓也	095-821-1009	095-824-9071	nrc@ninus.ocn.ne.jp
	福 江	中村 吉廣	才津 喜彦	0959-72-3108	0959-74-1588	frc64-fcrc75@vc.fctv-net.jp
	長崎北東	辻村 栄蔵	浜本 義文	095-843-6635	095-845-9411	n-hokutorc@nerotary.org
	福江中央	江口 正則	富川 吉夫	0959-72-3108	0959-74-1588	frc64-fcrc75@vc.fctv-net.jp
	長 崎 西	水本 由幸	深堀 俊一	095-828-1091	095-824-5520	nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp
	長崎琴海	佐藤 豊	西村 潮満	095-884-0169	095-884-0118	kinkairc@road.ocn.ne.jp
第10グループ	長 崎 北	中部 省三	鈴木 茂之	095-825-6485	095-824-9071	n-kitaro@giga.ocn.ne.jp
	長 崎 南	山田 晃	瀬戸 信二	095-821-1041	095-826-4756	info@minamiro.jp
	長 崎 東	瀬崎 陽三	山本きよみ	095-825-6491	095-821-5857	n-eastrc@ngs2.cncm.ne.jp
	長崎みなと	松尾 龍彦	本多秀一郎	095-834-8530	095-837-8536	higanagaro@mx.cncm.ne.jp
	長崎中央	本田 徳光	田中 達也	095-825-8585	095-825-8587	n-chuorc@arion.ocn.ne.jp
	長崎出島	松園 隆	佐伯 秀人	095-822-9632	095-826-4756	dejimaro@lime.ocn.ne.jp



服部大次郎 「カブト」

作品紹介

〈表紙〉ラジオ体操の曲が聞こえてきそうな朝、
有明海から小舟が船外機を響かせて潮の引いた水路を帰って行きます。
何を獲ったのだろう？

〈裏表紙〉遠い日の憧れ、子供も大人も大好きなカブトムシです。
さあ、山、川、海と、夏を楽しみましょう。

国際ロータリー第 2740 地区 ガバナー事務所

〒840-0815 佐賀市天神2丁目 2-28 松尾天神ビル1103号室
TEL 0952-26-6868 FAX 0952-26-6844
HP <http://www.d2740.org/>
E-mail : ri2740sagapiece@orion.ocn.ne.jp